



NEW KOMEITO

公明党

常に現場から！行動する頼れる男！

通信 No17  
2010年 初夏号  
のぞき正志後援会発行  
0256-35-2341

# のぞき正志通信

三条市議会議員



野崎市議と長沢ひろあき 決意の握手



公明党時局講演会(燕三条地場産業振興センターにて)

いつも真心からのご支援、大変にありがとうございます。この度、三条市議会におきまして、総務文教常任委員会の副委員長に選任され、指名推薦されました。皆様の声を市政に反映できるよう、一生懸命がんばってまいります。宜しくお願い致します。

また、5月25日には、長沢ひろあき 県本部顧問（党政調副会長）を迎え、公明党「時局講演会」を盛大に開催させて頂きました。大変にありがとうございました。夏の決戦に向け、私も全力で働いてまいりますので、どうか力強いご支援を、宜しくお願い申し上げます。



参加者の見送りをする長沢ひろあき



公明党時局講演会後の長沢ひろあきへの取材

●平成 22 年 3 月定例会が、3 月 3 日から 23 日まで開催されました。市政に対する一般質問を行った、野崎正志（公明）の一般質問を要旨で報告致します。（平成 22 年 3 月 10 日）

問（野崎）住宅版エコポイント制度の施行に伴う三条市の取組みについては、地域経済の活性化に大きく貢献できるのではないか、どう対応していくのか。

答（市長）制度には非常に期待を寄せている。環境対策と景気対策を目指す制度である。三条市においても住宅金具等を製造している所もおおくあり、制度の活用は喜ばしい。今後、地場産センター等を取りまとめ役にして、燕三条地域が有する物産を発信していくことについて検討し、必要に応じた支援をしていきたい。

問（野崎）平成 22 年度を小中一貫教育元年と位置つけている。不登校が増えてきているが三条市の状況はどうか。中一ギャップの解消の取組みに、どう取り組んでいくのか。

答（教育長）三条市の不登校は小学校では減少しているが、中学校では若干増加している。小学校 3 年から出始めて、中学校で急増しているのが現状である。理想として、小学校段階から小中一貫の見通した教育を進めていくこと。家庭環境、人間関係など複雑な面はあるが小中一貫教育を進めることで中一ギャップの解消につながってくものと思っている。

問（野崎）雇用対策について。若者の雇用創出と新卒者支援の取組みはどう考えているのか。ワークサポート三条の今後の活用はどう考えていくのか。移転場所はどうか。ジョブカフェのサテライトの創設はできないのか。

答（経済部長）ハローワーク三条管内の一月末の就職内定率は、高校生で 86%、大学生・短大生で、61%で、大変厳しい状況である。雇用対策協議会を設置して、企業訪問バスツアー、インターシップ事業などに取り組んでいる。4 月をもってワークサポート三条は、勤労青少年ホームへ移転先に考えている。ジョブカフェは、若者自立プランに基づいて対応している。

## ●まじめな庶民が報われる社会に●

今求められているのは、「庶民の悩みや苦しみに寄り添い、ともに喜びあえる政治家」長沢ひろあきさんに大きな期待が集まっています。

●学校校舎耐震補強工事（第二中・本成寺中）が始まりました。工期は 10 月 29 日まで。



議員総会で大勝利の報告

4 月の市議選第一声（自宅前）

街頭演説（パルム 2 前）



お気軽にご相談ください。

### のざき正志後援会

住所： 955-0057 三条市新光町 8-4  
TEL/FAX： 0256-35-2341

[http://www.komei.or.jp/giin/sanjo/nozaki\\_masasi](http://www.komei.or.jp/giin/sanjo/nozaki_masasi) (PC 用)

<http://www.komeito.com/giin/nozakimasashi06/> (携帯用)